

# 議会だより

3月定例会

第138号

平成3年(1991年)5月18日発行

小金井市本町六丁目6番3号

電話(83)1130(直通)

小金井市議会事務局発行

## 平成3年度予算5件を可決

### 一般会計は311億8871万円

#### 3月定例会

平成3年第1回定例会は3月5日に開会し、会期を2日間延長して3月30日に閉会しました。

今定例会では、市長から当初、平成3年度一般会計予算5件をはじめ、都市計画税の税率を100分の0.25に引き下げることを内容とする市税賦課徴収条例の一部改正など25件が提案されました。また会期中では、過払い給与の返還に際しない職員に対し、過払い分の返還を求める民事訴訟の提起について、職員の管理監督責任の欠如を理由として市長の給料の減額条例の2件が、さらに会期末には、3月20日の本会議において春原議員の辞職を許可したことに伴う市議会議員補欠選挙の執行に要する経費の補正予算1件がそれぞれ追加提案されましたが、有料自転車駐車場条例の一部改正を継続審査としたほかはすべてを可決しました。

また、継続審査としていた平成3年3月に市職員に支給する期末手当条例は、6名の議員から支給率を0.1か月引き下げる修正案が提案されましたが、これを否決し、原案を可決しました。さらに中間処理場の清掃業務委託契約に係る事務の検査については、検査を終了しました。なお、議案審議に先だって市長から平成3年度の施政方針が表明され、これに対してごみ問題対策、庁舎問題など市政の重要課題への対応などをたどりました。

予算特別委員会では、一般会計予算で(仮称)緑センター開館に伴う職員体制や外国人の市職員への採用に向けての対応など質疑が続出しました。その結果、同委員会は当初予定した3日間では審査が終了せず、会期を延長するなかで、3月30日まで審査が続けられ、補正予算4件、平成3年度予算5件を可決しました。

最終日には、調布飛行場拡大恒久化案の撤回を求める意見書など意見書4件を可決しました。

#### 3月定例会日誌

- 3月5日 開会。会期を28日までの24日間と決定。3年度消防委託事務の管理に要する経費負担について、地方自治法第74条に基づく住民監査請求に係る勧告に対する措置について、学校施設管理に関する決議の対応についての市長報告、質疑。
- 6日 平成3年度施設方針演説。
- 7日 平成2年度一般会計補正予算などの説明、質疑。平成3年度一般会計予算の説明。
- 8日 平成3年度一般会計予算及び特別会計予算、市税賦課徴収条例の一部改正などの説明、質疑。
- 11日 給与の不当利得返還請求に関する民事訴訟の提起について、市長の給与の特例条例の説明、質疑、一般質問。
- 12・13日 一般質問。
- 14日 厚生文教委員会。
- 15日 建設委員会。
- 19日 総務委員会。
- 20日 本会議、春原利計議員の辞職を許可。予算特別委員会。
- 22・25・26日 予算特別委員会。
- 27日 中央線問題対策、ごみ問題対策、予算特別委員会、建設・総務委員会。
- 28日 予算特別委員会。会期を1日間延長。
- 29日 予算特別委員会。会期をさらに1日間延長。
- 30日 予算特別委員会。各常任・特別委員長報告、討論、採決。平成3年度予算5件などを可決。意見書4件を可決し、閉会。

この議会報は再生紙を使用しています。ごみ減量と資源の再利用に御協力ください。



春を満喫(小金井公園にて)

## 都市計画税率を100分の0.25に引き下げ

### 外国人職員採用に向けての市の対応、 （仮称）緑センターの職員配置等で論議

3年度  
予 算

平成3年度予算は一般会計、生海外派遣実務旅費、外国人特別会計を合わせて43億2762万9千円、前年度当初予算に比べて3.3%の増となっている。このうち一般会計は31億871万円で1.7%増となっている。

主な事業としては、都道247号線・都市計画道路3・4・11号線整備、雨水浸透機設置、街路灯装飾灯設置補助、中学

3月20・22・25・26・27・28・29・30日の8日間におたり予算特別委員会を開催し、平成3年度予算及び平成2年度補正予算の審査を行いました。  
（委員長 村野静司議員、副委員長 野口達雄議員）

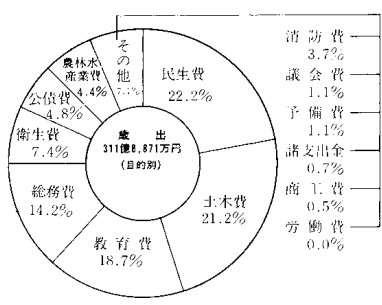
### 平成3年度一般会計予算

### 主な質疑

### 空き教室の利用計画を検討せよ

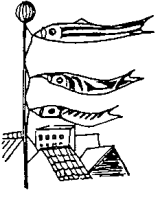
問 児童・生徒数の減少に伴い、学校の空き教室が増えている。学校の空き教室を増やして、学務委員会全体で検討して

### 一般会計予算内訳



### 会計別予算

会計別	平成3年度予算	前年度当初比較
一般会計	311億8,871万円	45億6,611万円増
国民健康保険特別会計	36億6,539万7千円	9,439万6千円増
下水道事業特別会計	21億2,932万1千円	4,949万円増
受託水道事業特別会計	16億9,910万円	2億7,078万8千円増
老人保健医療特別会計	41億4,509万3千円	5,695万8千円増



### 平和行参加の旅について問う

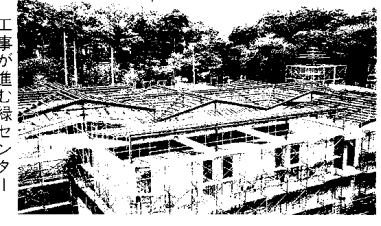
問 昨年実施された平和行参加の旅は、大変好評だったが、日程が厳しかったとの声もある。余裕のある日程を組むとともに、募集人員を増やしたり、現地集合や現地解散などを含めた改善をしないか。

答 今年度は出発日の集合時刻を1時間程度繰り下げて実施することを考えている。移動などを考えると30人が限度と考えている。現地集合は今後の課題として、基本的には昨年と同様の形で実施したい。

### 外国人職員採用に向けての検討結果は

問 市職員の採用にあたっては、学歴主義や試験方法等の問題を検討しながら、市内

答 現職員総数の中からの内泊生み出して対応することを考えている。なお時間を必要とするが、公民館本町分館の存続も考え合せながら、10月の開館に支障のないよう検討していきたい。また、図書館分室は一般事務職をもつて対応していきたい。



工事が進む緑センター

### 一般会計予算討論（要旨）

日本共産党 井上議員  
大久保市政の4年間の特徴と政治姿勢を振り返ると、第1に、増税、有料化で市民負担を増やし、すぐ出来ることとやらな市政であった。第2に、民間委託を増やし人による福祉充実を拒否している市政であった。第3に、けん責決議も真決議等何回も受けるなど混乱と迷走の市政であった。第4に、平和行政の推進に消極的で、予算の提案姿勢に何も言わず、国や都の言いなりな市政であった。第5に、国庫補助率の引き下げなどにも何も言わず、国や都の問題について市長等の責任は重大である。よって、反対する。

社会党 武井議員  
第1に、すでに整理した道路台帳を、スキャン管理のため改めて整備し直さなければならぬ責任は重大である。第2に、放置自転車への改正案を提案したが、継続審査となつたことを見てもつまみ食いのそしりを免れない。第3に、教育委員会内部の規程地裁は日に余る。第4に、十分な整理もせずに、土木課から下水道課へ教名の職員を配置換えしたことは、仕事上の混乱を招く可能性を残している。建設部関係予算の一部執行凍結は、市長の市政運営の一貫性のなさを示している。よって、反対する。

大衆党 青木議員  
第一に、ホームヘルパーなど必要な正規職員を増やさず、また、市営グラウンドを嘱託管理に切り替えようとするなど、市民要求にこたえる人員配置を怠つた予算である。第二に、労機を抑え市民参加の土地利用を行うための土地条例制定の努力もせず、市有地拡大を図らない責任は重大。第三に、市役所の建て替えで立ち遅れ、リース庁舎計画が出されるに至つたことは、まさに土地無策の重大な結果である。第四に、勤労者福祉に充てる予算の構成比が0%台にとどまつたことは、女性労働者就業実態調査の結果を無にするものと考えられる消極姿勢であり、きわめて遺憾である。以上により、反対する。

自民党 清水議員  
本予算案は、第1期大久保市政における市行政の健全化の努力の成果を、更に喫緊なものとし、第2期大久保市政へ歩を進めようとする意欲にあふれた予算である。第1に、市民や議会の要望に細かく配慮がなされていること。第2に、市民の安全を守る気配りの行き届いている予算である。第3に、市民の健康に寄与しようとする。第4に、高齢者福祉を守る積極的な予算である。第5に、市民の利便を守る積極的な予算である。以上により、賛成する。

賛成討論  
一般会計予算の起立採決結果  
賛成 自民党、公明党、生活者会議  
反対 日本共産党、社会党、大衆党  
以上により、原案可決。



平成2年度一般会計補正予算（第4回）  
5億778万7000円を追加し、予算総額を284億42万1000円とするものです。  
（起立採決結果）  
賛成 自民党、公明党、市民権、生活者会議、大衆党  
反対 日本共産党、社会党  
以上により、原案可決。

平成3年度国民健康保険特別会計予算  
（起立採決結果）  
賛成 自民党、公明党、市民権、生活者会議、大衆党  
反対 日本共産党、社会党  
以上により、原案可決。

平成3年度下水道事業特別会計予算  
（起立採決結果）  
賛成 自民党、公明党、市民権、生活者会議、大衆党  
反対 日本共産党、社会党  
以上により、原案可決。

平成3年度老人保健医療特別会計予算  
（起立採決結果）  
賛成 自民党、公明党、市民権、生活者会議、大衆党  
反対 日本共産党、社会党  
以上により、原案可決。

平成2年度受託水道事業特別会計補正予算（第3回）  
170万円を減額し、予算総額を20億1735万3000円とするものです。  
（起立採決結果）  
賛成 自民党、公明党、市民権、生活者会議、大衆党  
反対 日本共産党、社会党  
以上により、原案可決。

平成3年度一般会計補正予算（第1回）  
市議会議員補欠選挙に伴う経費にあつたため、予備費から98万8000円を総務費に組み替えるもので、予算総額に変更はありません。



平成3年度予算の主な新規事業

Table with 2 columns: Project Name and Details. Includes items like '緑ゆたか快速道', '暮らしと産業', '教育と文化', '福祉と健康', and '基本構想の実現のために'.

一般会計歳入歳出予算内訳の推移 (単位:%)

Table showing budget trends for '歳入' (Revenue) and '歳出' (Expenditure) from Heisei 1 to Heisei 3, categorized by tax, municipal expenses, and other items.

施政方針 第2次基本構想に掲げる 将来像の実現に向けて

Main body text of the policy statement, discussing urban development, infrastructure, and social services. Includes sub-sections like '蛇の目ミシン小金井工場' and '緊急質問'.

議長報告

Report from the Chairman regarding council activities and administrative matters.

市長報告

Report from the Mayor regarding city administration and public works.

地方自治法第242条に基づく住民監査請求に係る勧告に対する措置について

Notice regarding administrative measures taken in response to a request for administrative supervision under Article 242 of the Local Autonomy Law.



情 報 の 結 果

27件審議の結果、27件審議の結果、27件審議の結果...

可決した議案

総務委員会付託案件
平成3年3月に小金井市職員に支給する期末手当に関する条例の制定について

反対討論(要旨)
民社・市民ク 田中議員
第1に、国交のあり方やその決着が非常に不透明であったこと。

第2に、市長の政治判断により、11月上乗せしたというが、市民の代理人である我々が議員に納得するような説明がなかったこと。

第3に、本案に対して、議員が意見を述べるということが、議会の組合に連なる介入とか干渉であるとの意見があったが、このことは市民不在の議会運営であると考えられる。

第4に、職員がゆとりのある生活をしていないという意見があったが、公務員の生活は人事院勧告によって守られているという市民の意識は強い。以上により、反対する。

生活者会議 五十嵐議員
団体交渉が決まった期末手当、年間5.5か月にはそれなり重い意味がある。しかし、職員の権利と市民意識の間に相当のずれがある。両者一致することはないと思うが、市民の声を講じない、埋める努力や対策を講じない、市民も職員も不幸な結果を招きかねない。市長判断で人事院勧告に0.1か月上乗せしたことが市民と職員との意識のずれの拡大にならないかと危惧する。給与等は税金から支払われるとの観点から、市民に還元される使い方をしなければならぬ。人助は尊重すべきであり、また国交のあり方も民主的になるよう改善すべきであるとの意見を付し反対する。

修正案の提案説明のなかで、0.65か月を一律に支給することはないと言いつつ、11月上乗せしたというのはいささか論議的だと思ふ。また、期末手当は人事院勧告の枠内で支給すべきという指摘があるが、人事院勧告には役職加算も盛り込まれており、単に率だけで判断するのはよくないと思う。さらに、支給総額等総合的に考慮し、職員の給与体系の問題は、改善の余地はあると思うが、そのことと期末手当反対とは別問題と考える。今後市長が労働自治と財政民主主義を両立させるなかで、議員、議会、市民の納得のいく期末手当にすることを願ひ賛成する。

賛成討論(要旨)
市民権 佐野議員
修正案の提案説明のなかで、0.65か月を一律に支給することはないと言いつつ、11月上乗せしたというのはいささか論議的だと思ふ。また、期末手当は人事院勧告の枠内で支給すべきという指摘があるが、人事院勧告には役職加算も盛り込まれており、単に率だけで判断するのはよくないと思う。さらに、支給総額等総合的に考慮し、職員の給与体系の問題は、改善の余地はあると思うが、そのことと期末手当反対とは別問題と考える。今後市長が労働自治と財政民主主義を両立させるなかで、議員、議会、市民の納得のいく期末手当にすることを願ひ賛成する。

賛成討論(要旨)
日本共産党 長谷川議員
固定資産の評価額によって市内の土地の評価額は平均22%アップとなり、都市計画税の税率が100分の22に据え置かれた場合、固定資産税・都市計画税合わせて3年間で約21億4000万円の増税となる。昨年9月定例会に、日本共産党など議員提案した改正案は、この増税の約半分、11億8000万円を減税することで、市民負担を軽減し、重税感をやわらげるものでした。ところが、今回市長から提案された改正案では約3億円の減税に留まらないう。しかし、少しでも市民の暮らしに役立つものと考え、賛成する。
なお、今後さらに大幅減税に向け努力していただきたい。

賛成討論(要旨)
日本共産党 大島議員
第1に、平成2年度予算で執行凍結した工事用原材料費が含まれていないことが質疑の中で明らかになった。このこと上、担当職員が業務執行上説明を拒否するのは当然であり、担当部長との話し合いも、業務打合せの範囲内と判断する。
第2に、すでに、文書による注意処分を行いつつ、さらに、支払った給与の一部を不当利得として返還請求したことは、二重処分であると言わざるを得ない。
第3に、本件訴訟の提起に至るまでの経過は、行政ル

賛成討論(要旨)
公明党 大賀議員
平成2年3月29日、それは市長の決定した予算の一部凍結を不満として、維持補修係職員が議会に押し寄せた日であった。長い過去の慣例から、職場交渉と称し、上司や市長の助役のところへ押しかけるといふ無秩序な行動をする団体や職員は他に例がないと思う。職場復帰命令も聞かず、議場に付近で助役を罵倒し、議員に暴言を吐く無頼の集団をみたしなかつた時間に相当する給与について、返還請求を行っていない職員に対し、過払い給与と1月22日から完済までの間の遅延損害金を支払ふことの判決を求める訴えを提起するものである。

賛成討論(要旨)
日本共産党 大賀議員
第1に、平成2年度予算で執行凍結した工事用原材料費が含まれていないことが質疑の中で明らかになった。このこと上、担当職員が業務執行上説明を拒否するのは当然であり、担当部長との話し合いも、業務打合せの範囲内と判断する。
第2に、すでに、文書による注意処分を行いつつ、さらに、支払った給与の一部を不当利得として返還請求したことは、二重処分であると言わざるを得ない。
第3に、本件訴訟の提起に至るまでの経過は、行政ル

賛成討論(要旨)
日本共産党 大賀議員
第1に、平成2年度予算で執行凍結した工事用原材料費が含まれていないことが質疑の中で明らかになった。このこと上、担当職員が業務執行上説明を拒否するのは当然であり、担当部長との話し合いも、業務打合せの範囲内と判断する。
第2に、すでに、文書による注意処分を行いつつ、さらに、支払った給与の一部を不当利得として返還請求したことは、二重処分であると言わざるを得ない。
第3に、本件訴訟の提起に至るまでの経過は、行政ル

賛成討論(要旨)
日本共産党 大賀議員
第1に、平成2年度予算で執行凍結した工事用原材料費が含まれていないことが質疑の中で明らかになった。このこと上、担当職員が業務執行上説明を拒否するのは当然であり、担当部長との話し合いも、業務打合せの範囲内と判断する。
第2に、すでに、文書による注意処分を行いつつ、さらに、支払った給与の一部を不当利得として返還請求したことは、二重処分であると言わざるを得ない。
第3に、本件訴訟の提起に至るまでの経過は、行政ル

厚生文教委員会付託案件

●小金井市市体育施設条例の全部改正について
●小金井市上下水道三丁目605番3(上水浄水所配水池)を開設することに伴い、使用時間、休場地、使用料などを定めるものです。
●小金井市心身障害者福祉手当条例の一部改正について
14月分分から、月額1万5000円を1万7000円に、障害手当については月額2万1000円を2万2000円に増額するものです。
●小金井市愛育手当条例の一部改正について
14月分改正から、月額6400円を6900円に増額するものです。
●小金井市老人福祉手当条例の一部改正について
14月分改正から、月額4万3000円を4万5000円に、3万6000円を3万7500円に、2万4000円を2万5000円に増額するものです。

請願・陳情

●総務委員会付託案件
●採択したもの
●宅地建物取引業者の情報提供ならびに報酬に関する請願
●小金井市立清里少年自然の家(東京都宅地建物取引業者協会小金井支部長 久我好正ほか4人)
●市内JR駅ホームの水飲み場復活を求める請願書(駅のプラットフォームの水を愛する会代表 山川 裕ほか19人)
●湾岸戦争に対する日本政府の90ドル追加支援と自衛隊派兵に反対する請願書(とどけ/湾岸戦争に私たちが、緊急行動代表 漢人明子ほか38人)

建設委員会付託案件

●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果
●起立採決結果

報告された案件

●安心して老後を暮らせる施策に関する陳情書
●(三多摩医療生活協同組合事務理事 小松 清ほか41人)
●中東湾岸戦争の即時停戦と平和を求める決議採択の陳情書
●(日本労働党東京都委員会委員長 秋山秀男)
●取り下げられたもの
●(仮称)大栄・東急スポーツプラザ(ゴルフ練習場)に関する陳情書(藤平恒夫)

事件の調査について

●ごみ問題対策特別委員会が調査終了
●中間処理場の清掃業務委託契約の存在をめぐって、市と清掃業者との間で争われていた係争事件について、平成元年第4回定例会において市長から「相手方に500万円を支払い、和解したい」との提案があり、同年12月27日可決しました。しかし、同日7名の議員より、中間処理場の清掃業務に係る事務が適切に果たさなかつたことを説明することを目的として、地方自治法第98条に基づき事務の検査が提起され、ごみ問題対策特別委員会に付託し、検査を行ったものであります。検査結果は次のとおりです。

意見書(要旨)

●否決した意見書
●多国籍軍への90ドル追加援助と自衛隊派兵に反対する意見書
●否決した意見書
●否決した意見書

身体障害者福祉法の適用範囲を拡大し、難病者の救済を

身体障害者福祉法は昭和25年に施行され、四十余年を経過するなかで、その適用範囲も心臓、じん臓、ぼうこう、直腸などの内部機能障害へと拡大され、福祉の向上に大きく寄与してきました。しかし、肝臓をはじめとする多くの難病は原因不明のものが多く、治療方法も確立されていないことなどから、将来とも回復の可能性が極めて薄く、患者は日常生活に著しい制限を受けており、経済的社会的に弱い立場にいます。それにもかかわらず障害年金は受給できない立場にいます。よって本市議会は政府に対し、福祉増進の立場から、肝臓を含め難病患者に対しても内部障害者として身体障害者福祉法を適用するよう範囲の拡大を求める。

否決した意見書

●大久保市長の不信任決議(起立採決結果)
●大久保市長の不信任決議
●大久保市長の不信任決議



# 一般質問

## 「ごんごん」がききたい ただだしたい

### 再びリサイクルセンター構想について

**和田議員** ①第2次基本構想では、ごみ処理の基本として減量と資源化及び無害化等があげられているが、基本構想策定からわずか4年足らずの間に、ごみ問題は処分主体から地域環境を守る視点へと大きく広がってきている。このような状況のなかで、生産段階からの見直しをしない限り、市民の協力によるごみ減量は、一定の限界があるものと思われる。現実には二枚橋焼却場などの処分量が年々増加の一途をたどっている。(7)実施計画等のなかに、リサイクルセンター構想を具体化するつもりはないか。(7)4月からは開始される乳パック集団回収事業は、スムーズな運営ができるのか。(7)リサイクル事業についての市長の見解は、生活環境部長(7)条件整備を図りながら、今後検討していきたい。(7)東国回収品目について、市へ提出する申請書、届出書の日付欄を単に年月日としている自治体が増えている。本市での対応は、

**市長** (7)今後における大きな行政課題と考えている。

**西暦と元号併記の問題**について、市へ提出する申請書、届出書の日付欄を単に年月日としている自治体が増えている。本市での対応は、

**総務部長** カッコ書きで元号と西暦が併記できるように改正している。今後他市の状況を調査するなかで検討したい。

### (仮称)緑センターの開館に伴う諸問題について

**井上議員** ①今までは施設完成までが管理運営体制を明確にしないことが多い。図書館、公民館等の機能をもつた(仮称)緑センターが10月開館するが、(7)青少年センターや公民館本町分館の職員配置や事業は従来どおりか。(7)職員体制は。

**社会教育部長** (7)青少年センターは9月まで従来どおりの事業を実施するが、その後には公民館事業の中に取り込みながら行っていく。公民館本町分館の業務は職員体制との関係で話し合っていない。

**市長** (7)現行職員体制を死守しながら対応を研究したい。職員を増やさず、業務を民間委託にしたり、庁内運営でもリソースを有効活用できるように問題を残したまま任期を終わろうとしているが、(7)負担金、



### 若い夫婦を対象に 家賃補助制度を

**武井議員** ①東京への一極集中の影響で市内の地価や家賃が高騰し、市民が住宅に困窮している。このようななか、都は第3次長期計画のなかで住宅政策推進のための住宅マスタープランを策定し、今後、市区町村レベルでの策定を推進することとしたが、市は住宅政策をどう進めるか。また、若年層の定住を促進し、お年寄りや若者が共生できる社会づくりのため、若い夫婦を対象にした家賃補助制度実施は、この反面、高齢者も増えている。市は、若年層が多岐にわたる対応は行っているか。

**市長** (7)アンケート調査等で市民の意向を調査し、できる限り施策に反映させてきた。今後とも市民のための職員であることと徹底させる必要がある。(7)行政執行上、可能な限りの対応は行ってきた。



中央線南側にもミニ老人ホームを(写真はサンメール尚和)

市政全般について、議員が自由にただだせる一般質問の制度がありまして。今定例会では、3日間にわたり14人の議員による一般質問が行われました。以下はその要旨です。(6頁7ページ)

### 武蔵小金井駅西口改札のその後について

**小峰議員** ①武蔵小金井駅西口改札の開設は、長年の懸案であり地域住民の悲願でもある。(7)過去に政治的決断が必要な時には決断すると答弁したがその時機は、(7)取り組み経過と今後の対応は、(7)前回提出した文書要請や市バス会社、学校関係者が一体となった要請行動は、(7)開設が難しいなら先行的に南口駅前広場の整備をしないか。

**市長** (7)まだ決断する時機に至っていない。(7)中央線高架化や再開発事業で解決したい。企画財政部長(7)考えに附随する必要があるが折衝は続けている。(7)時機の問題もあり文書要請はしていない。調整の結果、まず学校から要請した。

**平成4年に健康センター**の取得が予定されているが、事業内容等明らかにし、早期実現に努めないか。

**市民部長** 健康づくり審議会の設置がされるまでの間、移動図書館の運行を望んだ意見集約が提出されているが、いつから実施されるのか。

**用地担当参事** (7)本町小や一中の付近を考えている。

**市長** (7)用地の確保等の見通しがついた段階で所要の対応をしたい。(7)図書館行政の対応の中で十分検討し、実行可能なものから逐次着手したい。

**世界の人々が1日も早い結核を望んでいた**。湾岸戦争が事実上終結した。この戦争から学ぶべき教訓は、再び悲惨な意見等を十分調査し、うなや対応すべきものと思える。今後の大きな課題と考えている。

**適切な対応であり、敬意を表したい。**(7)今後研究したい。

**高齢者福祉について**、(7)給食サービス等市民参加による生活支援組織をつくらないか。(7)中央線南側地域に、ミニ老人ホームをつくらないか。

**福祉部長** (7)今後の課題として、(7)用地確保に意を払う必要があると考えている。①八王子市長が首相に会い、湾岸戦争の早期終結などを求める要請行動をしたと聞くが、感想は、(7)戦争終結後の気持ちは、市報等で市民に伝えないか。

**市長** (7)議会や市民の様々

### 市内西北部の図書館行政の充実に向けて

**大島議員** ①貫井北町など、市内西北部地域の住民から図書館サービスの充実を求める声が強い。(7)市は北部図書館用地の取得を土地開発公社に依頼しているが、また、用地確保の翌年度に建設に着手したいか。(7)図書館協議会から中央線南北に各3館、計6館を要望する等十分調査し、うなや対応すべきものと思える。今後の大きな課題と考えている。

**適切な対応であり、敬意を表したい。**(7)今後研究したい。

**高齢者福祉について**、(7)給食サービス等市民参加による生活支援組織をつくらないか。(7)中央線南側地域に、ミニ老人ホームをつくらないか。

**福祉部長** (7)今後の課題として、(7)用地確保に意を払う必要があると考えている。①八王子市長が首相に会い、湾岸戦争の早期終結などを求める要請行動をしたと聞くが、感想は、(7)戦争終結後の気持ちは、市報等で市民に伝えないか。

**市長** (7)議会や市民の様々

### 平和条例の制定を

**小池議員** ①人類の究極の理想である平和を、日常的に追求していくことが地方自治体の大きな役割と考えている。東京都では昨年、東京都平和の日条例を制定し、3月10日を東京都平和の日と定めた。

**市長** (7)アンケート調査等で市民の意向を調査し、できる限り施策に反映させてきた。今後とも市民のための職員であることと徹底させる必要がある。(7)行政執行上、可能な限りの対応は行ってきた。

**用地確保に意を払う必要があると考えている。**①八王子市長が首相に会い、湾岸戦争の早期終結などを求める要請行動をしたと聞くが、感想は、(7)戦争終結後の気持ちは、市報等で市民に伝えないか。

**市長** (7)議会や市民の様々

### リース庁舎問題について

**青木議員** ①市民の財産とならば、かりか、地主や銀行の利益となるリース庁舎を中止すべきであるし、庁舎建設は市民の参加と合意により進めるべきとの立場から聞きたい。市は12月10日に現在地での建て替えと建て替えずに、N.T.T東側の公共施設用地に建設予定の民間ビルを仮庁舎として借りた。この案を示した。(7)現在地での建て替えは付近住民との関係で困難と言っていたが、住民の合意は得たのか。(7)仮仮庁舎に300㎡も必要なのか。N.T.T東側以外の場所にプレハブ等の仮庁舎を建てるこ

**市長** 立地状況も違うし、都市計画法、国土利用計画法等現行法令の中で対応できる内容と考えている。



市民の声を直接聞き、市政に反映する努力に欠けていたよ

重要課題への対応や職員の統率など、庁内運営についての感想は、(7)議会と市長との信頼関係が欠如しているように感じるが、今後、どう整理する考えか。

**市長** (7)アンケート調査等で市民の意向を調査し、できる限り施策に反映させてきた。今後とも市民のための職員であることと徹底させる必要がある。(7)行政執行上、可能な限りの対応は行ってきた。

**用地確保に意を払う必要があると考えている。**①八王子市長が首相に会い、湾岸戦争の早期終結などを求める要請行動をしたと聞くが、感想は、(7)戦争終結後の気持ちは、市報等で市民に伝えないか。

**市長** (7)議会や市民の様々





# 一般会計補正予算(第3回)等を可決

平成3年第1回臨時会は1月21日開会し、22日に閉会しました。

今臨時会では、昨年の12月定例会が自然閉会したことにより、補正予算8件が審議未了、廃案となりましたが、これら予算を再編成した一般会計補正予算(第3回)など補正予算4件が市長から提案され、すべて可決しました。

一般会計補正予算では、庁舎建て替え問題や市長選挙へ向けての市長の見解をたじた後、賛成多数で可決しました。

また、湾岸戦争の即時停止と平和の回復を求める意見書を賛成多数で可決しました。

## 可決した議案

### 本会議で即決

▼平成2年度一般会計補正予算(第3回)

前原暫定庁舎等設計委託料、東小金井駅北口自転車駐車場ラック等設置工事費等を計上する一方(仮称)小金井市テニスコート場土地借上料等を減額することにより、差し引き4億292万4000円を追加し、予算総額を278億274万4000円とするもので

### 反対討論(要旨)

社会党 武井議員

第1に、昨年の12月定例会で、今回とはほぼ同様の予算案が提案されたが、与党議員から出された継続審査の動議を起因として、審査途中で時間切れ、廃案となったことは、市長が予算を通すという決意と気力をそっくり失い、市政担当能力を失ったと言わざるを得ないからである。

第2に、市長は来年度にまたがる事業を今回提案しているにもかかわらず、4月の市長選挙に向けての態度を示さないことは、予算提案姿勢からも無責任であると言わざるを得ない。

### 反対討論(要旨)

日本共産党 小峰議員

第1に、臨時会まで開いて12月定例会の後始末をしなればならないこの事態は、市長の政治力の欠如の証明であり、同時に与党の無責任な態度にあること。

第2に、市長の任期も残り少ないなか、庁舎問題など市政の重要課題の多くが未解決となっており、このままでは、東小金井駅北口の自転車駐車場有料化への対応は、議会軽視と言わざるを得ない。

第3に、近年、福祉切り捨てなどにより多額の基金を積立てているが、老人入院見舞金制度の創設など、もっと市民要求にこたえるべきである。以上により、反対する。

### 賛成討論(要旨)

自民党 村野議員

第1に、効率的な行政運営を行い、市民サービスの向上に努めるため、一日も早い新庁舎の建設が望まれている。その第一歩として、前原暫定庁舎等設計委託料が計上されていることである。

第2に、「生きがいと心のふれあう福祉と健康のまち」の建設に向けて、基盤整備を図るため、栗山公園基本設計作成委託料が計上されていることである。

第3に、市政の緊急かつ重要課題である放置自転車問題を

解決に向けて、自転車置場の整備を積極的に図っていることである。

以上により、賛成する。

賛成：自民党、公明党、緑政会、民社、市民ク、生活者会議、社会党、大衆党

反対：日本共産党

## 意見書(要旨)

▼平成2年度国民健康保険特別会計補正予算(第2回)

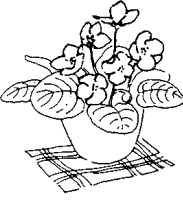
1,307万2000円を追加し、予算総額を36億7479万6800円とするものである。

▼平成2年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

1462万2000円を追加し、予算総額を20億9445万3000円とするものである。

▼平成2年度受託水道事業特別会計補正予算(第2回)

1,283万9000円を追加し、予算総額を14億6027万1000円とするものである。



## 引き続き審査する案件

- |  |  |
|--|--|
| <b>総務委員会</b><br>▶ 小金井市役所職員のネームバッヂ着用に関する請願書<br>▶ 小金井市文化団体協議会設立発足に関する請願書<br>▶ 「在日韓国人の法的地位協定」再協議に関する陳情書<br>▶ 「前原東部センター」なる多目的集会場の建設を求める陳情書   | ▶ 野川第二調節池に多目的スポーツ広場の建設を求める陳情書<br>▶ 野川第二調節池底地利用に関する陳情書<br>▶ 市道認定に関する陳情書<br>▶ 野川第二調節池底部(湧水)利用に関する陳情書<br>▶ 野川第二調節池等にランホールのできる施設を造っていただくための陳情書<br>▶ 違法な二階建の駐車場の建設に反対し建築基準法を遵守する指導を求める陳情書<br>▶ 東小金井駅南口商店街道路(市道第572号線)未工事部分において、小金井市は裁判敗訴にもかかわらず3年経過の現在でも、後始末をされない理由の公開に関する陳情書 |
| <b>厚生文教委員会</b><br>▶ 乳幼児医療費の無料化に関する請願書<br>▶ Sちゃんの学童保育所入所を求める請願書<br>▶ 動物の里親探しに行政の御協力をいただくための陳情書  | ▶ 野川第一調節池底地利用に関する陳情書<br>▶ 貫井南町二丁目における5階建マンション建設に反対する陳情書  |
| <b>建設委員会</b><br>▶ 小金井市有料自転車駐車場条例の一部改正について<br>▶ くじら山下原っぱを現状のまま残すよう求める請願書<br>▶ くじら山下原っぱをそのまま残す請願書<br>▶ 「市道の一部廃止」に関する陳情書<br>▶ 道路裁判判決の後始末に関する陳情書<br>▶ くじら山下原っぱに建設が予定される野川第三調節池に関する陳情書                            | <b>中央線問題対策特別委員会</b><br>▶ 開かずの踏切解消に関する陳情書<br>▶ 武蔵小金井駅にエレベーターを設置することを求める陳情書  |
| <b>特別委員会が行政視察</b><br>2月に、駅周辺開発問題調査・ごみ問題対策特別委員会の行政視察を実施しました。視察先内容は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺開発問題調査特別委員会：静岡県浜松市、愛知県豊明市</li> <li>ごみ問題対策特別委員会：視察先：兵庫県伊丹市、西宮市</li> </ul> 内容：ごみ減量対策とリサイクル | <b>駅周辺開発問題調査特別委員会</b><br>▶ 東小金井貨物駅跡地を都や市が買取し文化・スポーツ・福祉施設などをつくることを求める請願書<br>▶ 武蔵小金井駅北口広場立体利用構想調査費に関する請願書  |

**湾岸戦争の即時停止と平和の回復を求める**

イラクのクウェート侵攻にはじまる中東湾岸危機は、イラクの撤退を求めた国連決議の無視により遂に期限切れとなり、多国籍軍とイラク軍との中東湾岸戦争に発展したことは、平和を希求する本市議会として遺憾に感じるところである。第二次世界大戦において戦争の戦勝を体験した我々は、この戦争が世界人類の生存におよぼす悪影響や世界平和に与える脅威を心から深く憂慮する。よって、本市議会は、湾岸戦争における戦争行為の即時停止を求めるとともに、イラクが国連決議を尊重し、直ちにクウェートから撤退することを求めるものである。政府は湾岸戦争の平和的解決のため、平和憲法に基づいて、国際社会における我が国の地位に相応した独自の積極的かつ中心的な役割を果たすべきである。提出先：内閣総理、外務大臣、防衛庁長官

**賛成：自民党、日本共産党、社会党、公明党、緑政会、民社、市民ク、生活者会議**

**反対：大衆党**

**反対討論(要旨)**

大衆党 青木議員

私は、平和を愛する者として、中東湾岸戦争に大きな胸の痛みと悲しみを覚えるものがある。しかし、本意見書は、この戦争責任をイラク政府のみに押しつけるという、事実上、反する内容となっており、反対する。

**賛成討論(要旨)**

日本共産党 長谷川議員

我が党は、イラクがクウェートを侵略、併合して以来、平和的解決に努力すべきだと日本政府、米、イラクなどに働きかけてきた。戦争に反対する世論が高まっているにもかかわらず、戦争が勃発したことは極めて遺憾である。政府・自民党は、この機会に国際的貢献を果たすと称して、戦費負担、自衛隊海外派兵を企んでいるが、これは明らかに憲法に違反するものである。絶対に行わないよう、強く要求するものである。日本政府は、平和憲法を生かした国際的役割を果たすべきである。以上、見解を述べ、賛成する。

**編集後記**

さんさんと降り注ぐ陽光とやわらかな、心なごませる新緑に囲まれていると、四月の桜吹雪の中で始まった市長選と市議補選の、あの音戦がまるでワウのように感じられる穏やかさである。

出来上がった紙面をみる。今年度予算をめぐって少しでも市民要望を反映したいとの思いを削った三月議会の場面が思い出されて、感慨一入である。

ともあれ本紙も紙面を一新しての再出発であるが市民の皆様のご感想はかがやいております。

(議会編集委員会)

